

農業だより

平成 14 年 1 月 15 日
発行 (第 9 号)

編集・発行・問合せ
蓮田市農政課・
農業委員会事務局
蓮田市黒浜 2799 - 1
048-765-1722
(農政課直通)

大切な農地は自分で守りましょう

悪質業者の甘い言葉に気をつけましょう!

悪質な業者からの甘い言葉に誘われ、軽い気持ちで農地を提供すると違法に盛り土をされたり、産業廃棄物などで埋め立てられることがあります。

このようなケースは、農地として利用できなくなったり、近隣地への被害がでるなど、トラブル発生の原因となります。手遅れにならないよう、あらかじめお近くの農業委員さんや農業委員会に相談していただきますようお願いいたします。

また、農地転用許可申請書(農地転用届出書)への署名、押印は十分気をつけ、業者まかせにすることはやめましょう。

農地を守るのは所有者である農家自身です。トラブルの発生を未然に防止するためにも、農地の改良などを行う

場合は、許可(届出)どおり工事が行われているか、悪い土が搬入されていないか、現地をこまめに確認していただくようお願いいたします。



「だまされた!」ではもう遅い

平成 13 年度 特別賞を受賞された皆さん

(敬称略)

特 別 賞 名	品 目	氏 名	組合名
埼玉県知事賞	梨	小林 義三	貝塚中
埼玉県知事賞	花水木	齋藤 博司	城 3
埼玉県議会議長賞	ほうれん草	萩原 登美	長 崎
蓮田市市長賞	大 根	岡田 亨二	笹 山
蓮田市議会議長賞	長いも	染谷 武子	中閨2
埼玉県果実連合会長賞	みかん	山口 晃一	貝塚南
埼玉県園芸協会会長賞	春 菊	伊勢谷 芳	伊豆島
埼玉県農業協同組合中央会長賞	にんじん	花井 道雄	前 側
埼玉県経済農業協同組合連合会長賞	杓苺	鈴木昭三郎	宿 下
埼玉県経済農業協同組合連合会長賞	シクラメン	澁谷 悟	上平西
埼玉県経済農業協同組合連合会長賞	大 豆	澁谷 長治	川島下
埼玉県植木生産組合連合会長賞	花水木	木村 皓一	後 側
農業委員会埼葛地方協議会長賞	ご ま	小島 務	城 1
埼葛地域農業振興協議会長賞	寒 椿	福原 光三	関 山
埼葛地域農業振興協議会長賞	ホンモロコ	渡井 義松	足 利
埼葛地域農業振興協議会長賞	ね ぎ	増田 照	長 崎
春日部地区農業改良普及協議会長賞	小 豆	箕田 征子	駒崎西
蓮田市農業委員会会長賞	椿	染谷 幹夫	中閨2
南彩農業協同組合会長賞	里いも	竹内 昭一	南
農業まつり実行委員会会長賞	宝 船	朝市推進委員会	
農業まつり実行委員会会長賞	米 俵	田中 勇	南
農業まつり実行委員会会長賞	米	黒浜中学校	

おめでとうございます (蓮田市産業祭農業まつり)

知事賞に小林義三さん(梨) 斎藤博司さん(花水木)
黒浜中学校に実行委員会会長賞(水稻栽培で)

推進中です

有機100倍運動

「食と農を考えるつどい」

十一月十七日、コミュニティセンターで、第3回「食と農を考えるつどい」が開催されました。(蓮田市米消費拡大推進協議会の主催)

今回のつどいは、有機100倍運動の一環として行われ、「健康管理は安心なお米から」のテーマで、管理栄養士の幕内秀夫先生の講演をいただきました。

また、講演に先がけて、つどいに参加された皆さんに県の特別栽培農産物

の認証を受けたお米などを使ったおにぎりの試食をしていただきました。(減農薬・減化学肥料で栽培されたもの)

協議会のメンバーのグループのみならず、にぎりに作っていただいた十種類以上のおにぎりは、どれも大変おいしく大好評でした。

講演の録音テープをお貸しします。お申し込みください。申し込み 農政課

「生産者懇談会で研修会」

十一月二日、有機100倍運動生産者懇談会が開催されました。(蓮田市環境保全型農業推進協議会の主催)

年頭のごあいさつ

蓮田市長 樋口 暁子

輝かしい新年を迎え、年頭のごあいさつを申し上げます。昨年、世界的にもまた国内でも悲しい出来事が多く発生し、多難な二十一世紀の幕開けとなりました。蓮田市におきましても五月の降ひょう被害など農業の面でも困難なおきましました。しかし、一方では転作田を利用したコスモまつりの開催など地域での様々な取り組みも始まっています。



蓮田市は水と緑の豊かなまちです。この水と緑を守っていく上で、農業は大変大きな役割を担っています。引き続き地域の皆さんとお話し合いを深め、活性化に向けて多様な事業を進めてまいりたいと存じます。みなさまのご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

当日は、県の春日部農林振興センターのみなさんに農産物の減農薬栽培の取り組みなどについて説明を受け研修しました。

また、生産者のグループの皆さんが一堂に集まった機会でしたので、農産物の直売への取り組みや給食への地元農産物の導入などについて情報や意見の交換を行いました。

当日は、直売のグループや地域の稲作研究会など十五団体のみなさんに参加していただきました。

「子育て支援センターでおにぎり」

十月三十日、黒浜保育園に併設されている「子育て支援センター」で「おにぎりパーティー」が行われました。

環境保全型農業推進協議会では、有機100倍運動の一環として県の認証を受けたお米(減農薬・減化学肥料栽培米)を提供し、市内で推進されている運動の取り組みについて父兄のみなさんにPRしました。



おにぎりパーティー

現在、貝塚保育園と黒浜保育園では減農薬・減化学肥料で栽培されたお米を使用しています。

「減農薬栽培の勉強会」

今年、県の認証を受けて直売所などで販売されている特別栽培農産物は水稲をはじめとして九種類十一件あります。

(このほかに栽培計画が承認され現在栽培中のももあります。)

また、こうした取り組みに向けて地域の農家のみなさんが集まって勉強会が行われています。

貝塚地区 有志のみなさん

減農薬・減化学肥料栽培米の取り組みに向けて

高田地区 稲作研究会のみなさん

減農薬・減化学肥料栽培米の取り組みに向けて

有機農産物生産活動への支援

環境保全型農業推進協議会では、県の特別栽培農産物の認証を受けるなどの取り組みを行っている生産者グループの活動を支援しています。

問合せ 農政課

先進事例の紹介 「農の駅」(山梨県双葉町)

「蓮田でも取り組んでみたい」との声

農業委員会で研修しました

十一月八日、農業委員のみなさんが山梨県双葉町の農産物の直売施設である「農の駅」を視察しました。(双葉町は、甲府市に隣接する人口二万二千人の町で、ぶどうやりんごなどの果樹栽培が盛んな町です。)

「農の駅」は、一昨年の四月にオープン、農産物の直売所や地元で生産された野菜などを使用するレストランが併設されている施設です。(平屋建て床面積は九十五坪ほどで、「こじんまりとした施設となっています。)

町では、それまで、別の場所で、農家のみなさんが集まって、朝市を活発に行っていました。こうした農家の取り組みに答える形で、町が国補助事業を利用して建設したものです。

地元農家が栽培した生鮮野菜を扱う農産物直売所、農家女性がほつとつ、うどんなどを調理するレストラン、地元農家がつたぶどう、さくらんぼ、ジャムなどを販売する物産直売所などがあります。



年頭の「あいさつ」 蓮田市農業委員会会長 吉岡 猛

新年おめでとう申し上げます。
常口頃、農業委員会の活動に対しましてご理解と協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、農業を取り巻く現状は、国際的には農産物の輸入の増加、国内的にも農家数の減少や高齢化、農地の遊休地化が進むなど多くの困難な問題が山積しています。

このような中、農業委員会の果たす役割はいつそう重要になってきていると痛感しております。委員一同農業の活性化に向け今後もしっかり取り組んでまいりたい所存です。皆様のご支援をお願い申し上げます。ごあいさつに変えさせていただきます。

施設は、農家の組織の「農の駅企業組合」の運営で、直売所では、バーコードを使用した経営が行われています。視察した農業委員さんからは「蓮田市でも直売活動が活発になってきており、こうした施設の取り組みも必要となってきた」との感想が聞かれました。



山梨県双葉町「農の駅」

地産地消の推進

「農産物加工講習センター」

今春オープン予定

市内では、駒崎地区の駒崎転作組合

をはじめ、米の生産調整(転作)として多くの農家の方が「大豆」を生産しています。そして、これらの大豆を利用して、多くの方が「手づくりみそ」を製造しています。

今後、こうした地産地消の取り組み(「地元で生産された農産物を地元で消費していきましよう」との取り組み)のいっそうの推進を図っていくため、現在、農業者トレーニングセンターの一角に農産物加工講習センターを建設中です。

三月にオープンする予定で、みそづくりの講習会なども開催する予定です。多くの方のご利用をお待ちしています。

農産物の学校給食への導入

昨年は十四回を実施

学校給食への地元農産物の導入については、これまでも農業だよりでもご紹介してまいりましたように、現在、「朝市推進委員会」と「まめの会」のみなさんのご協力とご努力で試行という形で、「平野小」や「黒浜南小」など四校で行われてきました。

昨年は、おかげさまで十四回の実施の運びとなりました。今後、さらにその輪を広げてまいりたいと存じます。

事業の紹介

『駒崎地区』

集落営農経営確立支援事業

駒崎地区では、米の生産調整（転作）として、大豆、麦の集団作付けを行っています。特に駒崎転作組合が取り組んでいるブロックローテーション（米、大豆、麦の輪作栽培）は、埼玉県内でも優良事例として知られています。

ところで、伊奈学園高校へ向かう県道の北側の耕地約五ヘクタールは、排水路や農道などが未整備で、大豆、麦等の作付けには不適な耕地でした。

駒崎転作組合では、耕地の有効利用を図っていくため、また将来に向けて優良な農地として残していくためには何らかの整備が必要であるとのことから、役員会や権利者間の相談を行い、また市や県と整備の仕方などについて話し合ってきました。その結果、国の補助事業を利用して、五ヘクタールの整備を一挙に図っていくことが決定しました。

「実施事業名」

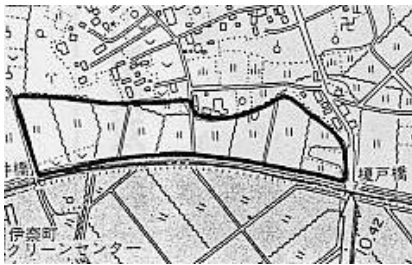
集落営農経営確立支援事業

この事業は、農業の担い手が不足している地域であって、集落営農を活用して効率的な営農システムを作り上げ

ていくことにより、将来的には農業法人などの経営体への発展が見込まれる地域で実施されます。

ご紹介したように、駒崎地区では集落の営農組織として駒崎転作組合が農作業の受託などを含めて熱心に活動しています。今後、五年以内の法人化を目標に取り組んでいくこととなります。

なお、今回の事業では、初めての試みとして、農業用水路の工事費の一部を受益者である関係農家の方に負担していただくことが決まりました。受益と負担の関連から、今後こうしたことを関係する農家のみなさまにお願いする場合もあるかと思いますが、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。



駒崎基盤整備地域

「整備内容」

農道	4路線	延長	約550m
排水路	6路線	延長	約520m
用水路	4路線	延長	約410m

農業用廃プラスチック回収

今回は三月に実施します

今年度の農業用廃プラスチックの収集が、十一月十二、二十六日の両日行われました。集まった量は昨年とほぼ同じでしたが、梱包については、ほとんどが再利用しやすく束ねられておりました。

今回は、塩化ビニールが三月五日（火）、ポリエチレン類が三月十一日（月）に行われますので、引き続きご協力をお願いします。

お詫び

前号（昨年十月十五日発行）でお知らせした国の転作助成金の支払については、事務処理上例年どおり三月末となる見込です。

お詫びして、訂正いたします。

なお、市の助成金は、二月中には振り込みを行なう予定です。

「活用ください」

産業振興補助事業

市では、農業者のみなさんが共同して施設の購入などを行う場合、その費用の一部を予算の範囲内で支援しています。これまでにこの制度を利用して、コンバインやスピードスプレアーの購入、共同して用排水路の整備などが行われています。

- ・土地改良事業では事業費の四〇%
- ・農業近代化事業では事業費の三〇%を支援しています。

集落や農業者グループなどでご検討ください。

（問合せ）農政課

後記

先日、テレビで深谷市長さんのお話を聞く機会がありました。深谷ではネギの栽培が全国的に知られていますが、輸入野菜の影響をもるに受け大変な状況だとのこと。市長さんは、これからの農業についてのキーワードとして、『価格』『安心』『鮮度』の三点を上げられていました。首都圏近郊として同じ蓮田市としても考えていかなければならない大切なテーマだと感じました。